

Zoomで何でも読もう会

書物名	『天地明察』 沖方 丁 著	開催 日時	2021.6.1	推薦	宮原
巻・章	全編		Zoom 読み会	出席者	12名
<p>2009年「野性時代」に連載。同年、加筆訂正して単行本化 江戸時代、4代将軍家綱～5代綱吉の時代の物語。渋江春海（安井算哲）が主人公。 彼が幕閣、大藩のバックアップと諸先輩の指導下、平安時代以来の暦を改定していく物語である。</p> <p>渋江は江戸城の将軍・幕閣はじめ寺社・貴族に囲碁を教える安井家の嫡男。 本職の傍ら、算術（和算）と天文学に精進する。囲碁の「布石」をベースに、算術の理論面、天体観測の実地面を全て総合化して新たな暦を生み出そうとする壮大なプロジェクト。その過程で関孝和、保科正之、徳川光圀、本因坊家など名だたる人物が登場、彼をサポートする。主要な登場人物はすべて善人に描かれているので、気分良く読めた。</p> <p>改暦の技術的な大変さ、暦＝文化の変更をめぐる朝廷と幕府間の政治的駆け引きなど読んで良かったとする意見の一方、余りにエンタメ的で途中で放棄したとのシビアな意見もあった。</p>					